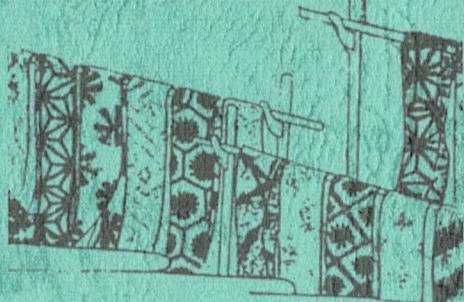
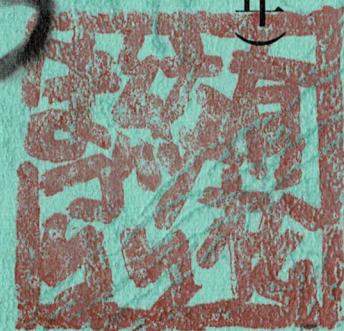


第二十三号（二〇二二年）

有松
まちづくりの会
はなわらまつり



有
松
宿

池
鯉
鮎
宿

鳴
海
宿

宮
宿

企画
発行

第38回有松絞りまつり実行委員会
企画
有松まちづくりの会
有松あないびとの会

その一

祇園寺金毘羅堂の隅蓋と滴水瓦

こんびら

すみぶた

てきすいがわら

滴水瓦とは、豊臣秀吉の朝鮮出兵の時、朝鮮からもたらされた軒先瓦のことである。特

色は、平瓦と違い雨水の切れをよくするため、中央部が、舌状に垂れている。

有松にも、滴水瓦がかなり存在している。

瓦を拭き直す時に、昔の様式にした屋敷もある。祇園寺の金毘羅堂も改築の時、元のように屋根に隅蓋と滴水瓦をつけた。その隅蓋は兎と亀で園児が喜びそう。♪もしもしかめよかめ

さんよ：♪と歌いたくなる。昔の兎と亀は目

がきつくて怖かったそうだ。兎は「波乗り兎」で、子孫繁栄や豊穰をもたらし、めでたい動物。亀と共に火除けの守りと思われる。

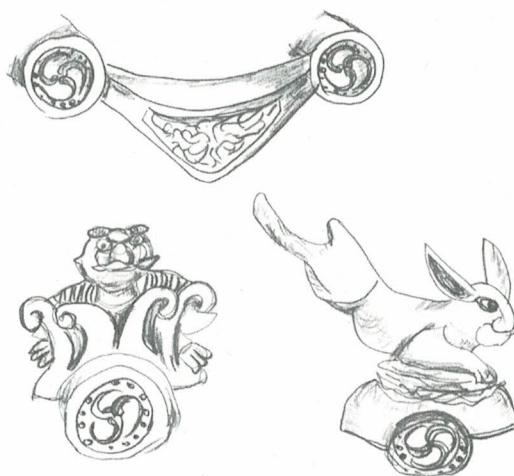
有松の町並みは、屋根一つとっても伝統的な様式を受け継いでいる。

よもやまクイズ 金毘羅堂にまつられているのは？

A 火の神

B 海の神

C 学問の神



菅原道真と鶯鳥

うそどり

有松天満社に鶯鳥の燈籠があります。置かれているのはなぜでしょう。

天満社に祀られているのは学問の神、菅原道真です。太宰府に左遷された道真是延喜二年（九〇二年）正月七日の神事をした時、蜂が襲来し人々を刺した。その時、鶯が飛来し蜂を食い、危難を救つたと伝えられています。鶯はアトリ科の体長18センチほどの鳥で、飛ぶと白い腰が目立ちます。「ヒー・フー」と鳴きます。

多くの天満社では「う

そ替え」の神事が行われます。鳥を模した木彫のお守りを他人と交換したり、新年に前年貰った物と新しい物と交換します。

前年にあつた災厄、凶



灯籠

鶯鳥

木うそ

事を嘘に替えて新年を吉で迎えるという意味合いが含まれています。

よもやまクイズ

有松天満社内に架けられている橋の名前は？

A 梅橋

B 夢橋

C 虹橋

岡家住宅の天窓

岡家住宅の天窓は、人気あるガイド箇所の一つになつてゐる。

天窓とは屋根瓦を剥がしそこに板ガラスをはめ込んだトツ。トライ。ト。どうしてこのような造りが生まれたのか。

日本の伝統的家屋は障子を通して室内が照らされている。陰翳。

礼讃に違ひないが、暗い。室内の照度を上げるために考え出されたのが天窓である。開国後輸入されるようになつた板ガラスは大変高価であつた。貴重な一枚を屋根にはめ込んで天窓を作り、室内を照らした。その後、複数枚購入できるようになると障子に一枚ずつ板ガラスをはめ込むようになった。「額入障子」「雪見障子」、「猫間障子」と呼ばれるものである。

やがて明治40年（一九〇七）旭硝子による国産化の成功により、板ガラスは徐々に全国各地に広がつていった。そして、総ガラスの「硝子戸」が登場する。寒さを防ぐためでもあつた。岡家住宅の天窓は板ガラスの歴史を物語る貴重な資料でもある。

ただ、天窓の多くは雨漏りが避けられないこともあつて、消えていった。

よもやまクイズ 建物の建築年代がわかる史料は？

A 木簡

B 柱の年輪

C 棟札



猿猴庵の見た有松しぶり

猿猴庵は江戸時代の宝暦6年（一七五六）に名古屋に生まれた文筆家兼画家で、本名を高力種信という尾張藩士です。生涯、文と絵で時代を記録しましたが、彼は次のように有松しぶりを評しています。

「有松しぶり店」

近郷の民家より此のしぶりをなして

ここに出すいすれも風流を尽くせり

本来当所は清水にして染物の艶

他に勝れたれば名物とす

是より江都までの間か程に見事たる店はなし

東海道第一の壯觀と/orいべし

東海道は整備が整い、人々の往来も増え賑やかでした。その道中、様々な技法を駆使して美しく染め上げられた有松のしぶりは、土産物として旅人にもてはやされ、产地である有松の名も有名にしたようです。



- よもやまクイズ 紹商の店先で人々が買い物するために腰かけた框、何と読む？
- A かまち B はまち C いたち

日本遺産の町 有松

二〇一九年五月、有松は「江戸時代の情緒に触れる絞りの産地」「藍染が風にゆれる町有松」をして日本遺産に認定されました。日本遺産とは、文化財などを活用して、地域に受け継がれてきた歴史的魅力や特色を物語（ストーリー）として国内外に発信し地域の活性化を図るものです。



有松には開村以来四〇〇年余、絞りや町並みや山車など様々なものが受け継がれ、見事なまでに今に繋がっています。一粒一粒括って美しく染められ、多くの人の手を経て完成する有松の絞りがもたらした「有松らしさ」は特別でかけがえのないものなのです。

有松で培われてきた文化、ストーリーを、日本遺産マーク（よく見ると文字がある！）のように、幅広く、みんなで次世代に繋げたいものです。

よもやまクイズ 日本遺産を認定する省庁は？

- A 観光庁
- B 文化庁
- C デジタル庁

東海道五十七次

歌川広重の「東海道五十三次」の浮世絵が余りにも有名で、東海道は五十三次と思われがちですが、本来は五十七次であつたことが判明しています。

徳川家康は一六一五年「大阪夏の陣」で豊臣家を滅ぼしたあと、一六一九年に京街道の伏見・淀・枚方・守口の四つの宿をおき、大阪までが整備されて五十七次となつたのです。

一般的には江戸（日本橋）と京（三条大橋）を結ぶ品川宿（大津宿までの五十三次が東海道と思われていますが、大阪（高麗橋）までの四宿を含めての五十七次街道でした。しかし京と大阪の二大都市を結ぶ区間は、京街道・大阪街道と呼ばれていたため

東海道とは別の街道であると思われてしまったのかもしれません。

有松・鳴海絞会館の入口に「東海道五十七次」の掲示があります。



地蔵池

毎日世界中に暗いニュースが駆け巡り、不安な暮らしが続きます。

でも、春はめぐつてきて地蔵池の桜も満開となり、暫しホツとしました。

例年はお花見の人出もありますが、今年は少なかつたよう思います。

この地蔵池ですが、以前はもつと広かつたのです。

今は地蔵堂の前が芝生広場になっていますが、ここも池でした。

池の傍はぬかるんでいて、有松小学校の児童たちが先生と一緒に、時には叱られながら草を取り、田植えをしたそうです。

〔秋には収穫した糲を精米してもらい、学校で炊いておにぎりにして一人一個ずつ食べた。物がない質素な時代で、美味しくいただいたことを思い出す〕と、これは現在八七歳の方の思い出話です。

愛知用水建設にあたり地蔵池の改修も行われ、北端の部分は埋められました。

一時、愛知用水の水を引き入れておりましたが、今はありません。又地蔵池のバス停辺りが分水嶺で、雨水が南側は三河湾へ北側は伊勢湾へと流れています。

よもやまクイズ 有松の東海道に無い橋は？

A 中川橋

B 松野根橋

C 中島橋

その八 繁栄を支えてきた絞り子たち

有松に富をもたらした絞りの反物。粹で着心地がよい上に美しい。精緻な絞りの技術には驚愕の声すら上がる。四〇〇年経つた今も、絞り子たちにより絞りの技は継承されている。

絞りは、一八〇〇年代には農家の副業として有松周辺ばかりでなく遠く西三河地方にも及んでいた。農家の絞り子は、六・七歳のころから親の手仕事を真似て技を身に付けた。生活を支えるために何十年も絞り作業に携わるうちにさらに技を磨いていった。その作業の速さと緻密さは、まさに超絶技巧と言える。最盛期、絞り子は一万人以上いたといわれている。

絞り屋の近喜さんには、有松外の絞り子が二〇名いる。平均年齢八十五歳、この方々により、純国産浴衣の反物が、年間三〇〇反ほど生産されている。有松の繁栄を支えてきた絞り子たち。後継者の育成が急がれるところである。



よもやまクイズ

第1回国際絞り会議が開催されたのはいつ？

A 一九七二年

B 一九九二年

C 二〇一二年

よもやまクイズの解答

その(一) : B 海の神（「こんぴらさん」と親しまれた神で、海の神、船の神とされています。）

その(二) : C 虹橋（参道から天満社内に移設され、「虹橋こみち」として整備されています。）

その(三) : C 棟札（棟札、床板墨書きなどから建物の建築年を知ることができます。）

その(四) : A かまち（浮世絵には框（かまち）に腰をかけて買い物をする人々が見られます。）

その(五) : B 文化庁（有松は名古屋市として初めて認定されました。）

※全国で一〇四ヶ所認定・二〇二一年現在

その(六) : B 55枚（スタートの江戸とゴールの京都を含めて55枚。）

その(七) : C 中島橋（中川橋・松野根橋は有松に、中島橋は鳴海に架かっている橋です。）

その(八) : B 一九九二年（第1回は名古屋（有松・鳴海）で開催され20カ国から参加者。）